学校番号	3010

令和5年度 工業（インテリアデザイン） 科

教科	工業	科目	インテリアデザイン実習	単位数	3 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

工業のインテリアデザイン分野に関わるものづくりを中心に、インテリアエレメントの分類（家具、建具、照明器具、窓回り部品、テキスタイル製品、壁装材料、工芸品）を取り上げ、木材やガラス、テキスタイル等の素材を用い、小家具の制作を通して実際の作業に即して基本的な技術を総合的に関連付けて理解するとともに、実際のものづくりの現場で活用することができる技術の基礎力・応用力を身に付けるように学習します。
履修条件
なし

2　学習の到達目標

・ものづくりを安全で安心な工業製品を提供する視点で捉える。 ・実際の作業に即した実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業のインテリアデザイン分野に関する知識と技術を総合的に習得する。 ・作品作りを通して主体的に取り組む姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	工業のインテリアデザイン分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解する。工業のインテリアデザイン分野に関する技術を実際の作業に即して身に付ける。	工業のインテリアデザイン分野の技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う	工業のインテリアデザイン分野に関する技術の向上をめざして自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	素材の加工技術①とデザイン	・インテリアエレメントについて理解を深める。 ・小家具のデザイン考察 ・アイデアスケッチ ・木取り図作成 ・模型制作 ・工具の扱い方と工程 ・木材の加工法を学ぶ	a：制作過程を理解し、工程計画を立てている。必要な加工技術を適切に使用し制作している。 b：木材加工技術に関する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作している。 c：主体的かつ協働的に取り組むことができる。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等
2	素材の加工技術②	・作品制作 ・切削加工 ・研磨加工 ・組立加工 ・仕上げ加工 ・三面図	a：必要な加工技術を適切に使用し制作している。制作過程を理解し、工程計画を立てている。 b：木材加工技術に関する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作している。 c：主体的かつ協働的に取り組むことができる。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等
3	作品発表	・仕上げ加工 ・三面図 ・プレゼンテーション ・発表	a：必要な加工技術を適切に使用し制作している。制作過程を理解している。 b：三面図やプレゼンテーションでは作品のコンセプトを明確に表現することができている。 c：主体的かつ協働的に取り組むことができる。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度